

# ジャカルタ流おもてなし 「ここを、家族みたいに 集まれる場にしたい。」

## KOMALA DEWI (コマラ デヴィ) さん

インドネシア共和国首都ジャカルタ出身。

福井市文京にあるインドネシア料理レストラン「DJAKARTA FOOD INDONESIA」を営むかたわら、地域の公民館などでインドネシアの文化を広めている。また、ムスリムの若者たちのお姉さんの的存在として、日々食事の提供や相談に応じている。

2020年にふくい外国人コミュニティリーダーとして委嘱。



### —日本に来たばかりの頃、苦労したことは？

19年前に日本人の夫と結婚して日本に来ましたが、最初は全然日本語が分からず苦労しました。特に、車の免許を取るのが本当に大変でした。ただ、いつもタクシーを使っていたのでお金もかかりましたし、仕事や子どもの送り迎えをするためにも車の免許は必要でした。自動車学校の授業は漢字や難しい言い回しばかりだったので、いつも国際交流会館で日本語の先生に助けてもらっていました。

車の免許を取ってからも日本語の勉強のために、工場で日本人と一緒に働いたり、いつもメモ帳を持ち歩いて、生活の中で分からない日本語があったらメモをして、家に帰って言葉の意味を調べたりしました。



そのうちに私は教科書をたくさん読む勉強より、誰かと話しながら勉強の方が合っているということが分かりました。今では、お店でお客さんと話すことが一番の勉強になっています。

ちなみに、家で子どもと話すときはインドネシア語を使います。子どもは小さいときから日本語もインドネシア語も使っていたので両方上手になりました。でも、私は日本語が全然上手くなりません(笑)。

スマホがなかった19年前に比べると、今はとても便利になっています。地震とか大雪のときの日本語のニュースもスマホの翻訳アプリを使うとインドネシア語で読めるので、あまり困らないですね。

そのぶん、日本語の勉強をしなくてもよくなってしまって、今でも日本語の読み書きは苦手です。テレビも、もう少しひらがなを使ってくれないかなあって(笑)。

### —福井のオススメスポットはありますか？

ん～、インドネシアの友だちから同じ質問をされますが、いつも答えに困ってしまいます。だって福井は何もないから…(苦笑)。でも、大好きです。自然がたくさんあって、私は山とか海が好きなのでよく行きます。一番好きなのは海ですね。

ラマダーン(イスラム教徒が断食を行う約1か月間のこと)が終わったら、友だちと三国のビーチに行って、持ち寄った料理を一緒に食べたり、花火をしたりします。あと、海に向かって「あああああ！」って、大声で叫びます。都会では絶対できないですよ。最近、コロナウイルスでなかなか集まれないですけど、少ない人数で時々海に行ったりしてリラックスしています。



## —外国人コミュニティリーダーになった理由は？

私が日本に来た時は、困ったときに相談できる仲間がいませんでしたし、外国人が集まれる場所もありませんでした。当時を思い出すと、今でも涙が出ます。だから、「外国人コミュニティリーダー」の話を聞いて、私は感動しました。

「DJAKARTA FOOD INDONESIA」のお店は商売だけじゃなくて、日本人も外国人もいろんな人が集まれる場所にしたいと思って始めました。いつの間にか留学生や技能実習生たちがお店に集まって、私を「おねえちゃん」と呼んでくれるようになり、すでにコミュニティリーダーのような存在になっていたと思います。なので、外国人コミュニティリーダーを引き受けることも自然なことでした。



## —デヴィさんは、どんな相談を受けることが多いですか？

レストランを開いていると、留学生や技能実習生がご飯を食べに来て、いろいろ相談してきます。学校のこととか、お金のこととか、本当にいろいろです。学生には私のお店でアルバイトとして働いてもらって、少しでもお給料をあげられるようにしています。

最近、技能実習生のことで日本人から相談されることもあります。この前も、お店に来た会社の社長さんから、「デヴィさん、今度私の会社に来る技能実習生のために日本の文化とか生活について教えてあげてください。」と相談を受けました。私も日本に来たばかりの頃の大変さをよく知っているの、留学生や技能実習生のために少しでも役に立てることがあれば手伝うようにしています。

留学生や技能実習生は2年、3年で国に帰ってしまうでしょう。だから、実はとてもさみしいです。でも、いつも「ありがとう」って言って、私のことをお母さん、お姉ちゃんと呼んでくれる子たちがいるから、これからはずっと福井にいたいと思います。

インタビュー実施日：2021年2月9日

## —今、取り組んでいることは？

福井の人にインドネシアのことやイスラム教のことをもっと知ってもらうために、2年前から福井市のハピリンで、インドネシアの独立記念日をお祝いするイベントを開いています。

ほかにも、福井市の公民館や児童館でインドネシアの文化紹介をしています。よく、子どもたちから頭に被っているものについて聞かれます。子どものときからいろんな文化に触れることは良い経験になるだろうし、私にとってもインドネシアのことを知ってもらえるので、とても良い機会です。

最近、コロナウイルスのせいでインドネシアも日本も暗いニュースばかりです。少しでもみんなが元気になればと思って、自粛期間中にTikTok（ティックトック）を始めました。毎朝更新していますよ。やっぱり「スマイル」が大切ですよね。スマイルは無料ですしね(笑)。

## —これから、外国人コミュニティリーダーとして取り組みたいことは？

コミュニティリーダーの養成講座で、岡山県総社市の外国人コミュニティの取組みについて聞いて、福井でもコミュニティリーダーの仲間たちと一緒にもっといろいろなことに取り組みたいと思うようになりました。

私はインドネシア人ですが、福井に住む日本人も外国人も「家族みたい」に一緒に活動ができるといいと思います。

## DJAKARTA FOOD INDONESIA (福井市文京)

ケチャップマニス（インドネシア料理によく使われるケチャップ）の甘い香りが漂う座席15席ほどの小さなレストラン。福井大学やモスクにも近いので、授業の後や礼拝の後に立ち寄る人も多い。

特に金曜日は、男性がモスクで礼拝を行う日なので、ランチタイムには多くのお客さんが訪れる。

おすすめはナシゴレン。デヴィさんの明るく元気な声が迎えてくれるアットホームなお店です。



## ◎ふくい外国人コミュニティリーダーとは？

「外国人県民が安心して暮らせる福井」を目指し、外国人県民等のネットワークを活かし、県内の外国人コミュニティに生活・災害情報を届けたり、日本人県民とのコミュニケーションの橋渡しや災害時の自助・共助等の担い手としてご活躍いただいています。詳しくはこちら⇒

